



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2017-2018 年度  
1 月号  
NO. 340

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL03-3615-5568

強調月間

IBC  
DBC

国際会長：Henry Grindheim(ノルウェー) 主題：「ともに、光の中を歩もう」  
アジア地域会長：Tung Ming Hsiao(台湾) 主題：「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事：栗本治朗(熱海) 主題：「広げよう ワイズの仲間」  
関東東部部長：長尾昌男(千葉) 主題：「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」  
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題：「楽しもう ワイズ!!」

## 2018 年在京ワイズ合同新年会

と き 2018 年 1 月 13 日(土)  
12:30~15:30  
ところ しのめ YMCA ども園  
かいひ 5,000 円

### ★プログラム

第1部 礼拝・奨励  
第2部 懇親会

- ・一流シェフによるインド料理
- ・日本一周日本酒めぐり
- ・“ノリノリ” サックス演奏



※終了後、ひがし新年例会を門前仲町で行います。

## 2018 年戌年に向けて

金丸満雄

### 新年あけましておめでとうございます

2018 年の干支は「戌」。戌年にはどんな意味があるのか検索した。「戌」の漢字はもともと「滅(ほろぶ)」の意味(悪い意味ではなく)があり、戌年の前の酉年は成長してきた草木が実を結ぶという意味があり一つの結果が出たと言える。戌年の後の亥年は、滅びた後に新たな種子ができるという意味で、新しい生命の始まりを予感させる年。戌年の「ほろび」は、実を結んだ草木がいったん枯れ、その後で新しい芽吹きへと生命が繋がっていく、そんな大切なバトンタッチの意味がある。つまり戌年は、成熟を終えた草木が枯れ次の世代へと生命を繋いでいくための年。

ひがしクラブは今年設立 30 周年を迎える。明るい仲間よしクラブであることも大事であるが、一人一人の負担軽減とクラブ活性のためにも、メンバー増強に真剣に目を向ける時と考え、ひがしクラブの 2018 年は、会員増強の強調年として取組みたい。また、昨年末でひがしクラブ設立目的でもあった、東陽町ウエルネスセンターが閉館となり落胆したが、これまで 30 年間サポートしたことを誇りに、気持ちを整え、新しい始まりに向け皆さんとともに取組んでいきたい。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

### 🛐 今月の聖句 🛐

『あなたがたは、自分で注意していきなさい。あなたの兄弟が罪を犯すなら、彼をいさめなさい。そして悔い改めたら、ゆるしてやりなさい。』

—ルカによる福音書 第 17 章 3 節—

### 12 月

出席者 9 名 ネット 名  
会員出席数 9 名 ゲスト 名  
在籍数 12 名 メンバー 名  
(広義会員 2 名)

ひがし会員出席率 90%

### スマイル

11 月 9,000 円

累計 48,000 円

### 2017-2018 年度役員

会長 金丸満雄  
副会長 飯田歳樹  
書記 須田哲史  
会計 鮎澤正和  
担当主事 沖 利柯

## 東陽町センター：クリスマスオープンハウス

毎年最後のプログラムとして行われる、恒例「クリスマスオープンハウス」が12月23日開催された。前日の準備に続き、早朝から準備が行われ10時に開会セレモニーが行われた。大沼実行委員長・菅谷総主事・東陽二丁目町会長挨拶、チアリーダーショーでセレモニーが終了。名物のお雑煮が振舞われオープンハウスの開会。ひがしクレープ屋も応援の学習院大生とともに戦闘開始。アトリウム各模擬店も大きな掛け声合戦で熱気がこもる。連休のためなのか例年より来場者が少ないと感じつつも、午後2時前に各模擬店売場が続いた。クレープも10キロの生地を焼き続け無事完売となった。益金は約60万円となり、東陽町センタープログラムに使用される。



閉会后、12月末閉館する東陽町ウエルネスセンター最後のプログラム「クリスマスオープンハウス」関係者（実行委員・スタッフ・ワイズ・2丁目町会・ボランティア等々）による感謝会（クリスマスパーティー）が行われた。初回から支えてきたひがしクラブ、寂しい複雑な想いを胸に抱きオープンハウスを終了した。数日後屋上には、YMCAの看板からゴールドジムの看板に挿げ替えられていた。

### 6回目の年男を迎えて思うこと

竹内 聡

男性の寿命年齢が80.98歳で2015年と比較すると0.15年上回ったそうです。この先、寿命年齢は何歳まで行くのか。考えると周囲は全て老人社会になるのではないかと考えさせられる。その中で考えることはシニア達の経験豊富な知識と能力が活躍できる職場が増えていくと思う。70歳を迎えた時に考えたことは余生をどのように過ごすかでした。目標を三つたてた。①は、職場には週3日の勤務で今まで出来なかったIoT企画設計を自由に考え提案する。②は、ワイズに時間を作り、ひがしクラブの仲間達と例会・イベントで交流を深めること。③は、続けてきた旅行を継続する。旅行は何時も楽しいです。行くためには、体の健康を維持していく努力とワクワクする気持ちを大切に。旅行を通じて楽しみが増えたことは写真に興味を持ったことです。カメラを持ちながら風景を撮ると、町内が新鮮に見えてくる。今まで関心を持たなかった近郊の町をブラリブラリと年男が歩きます。

皆さんから「歳をとる楽しみ」を頂きます。



担当主事 沖 利柯

新年おめでとうございます。

本年も昨年同様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### ▼クリスマスオープンハウス無事終了

12月23日、東陽町センター全館をあげてのクリスマスオープンハウスが盛況のうちに終了しました。例年どうりの模擬店、バザー、国際喫茶、災害コーナー、こどもコーナーなど盛りだくさんの内容でした。オープンハウス実施前から東京ひがしクラブからいただいた大きなクリスマスツリーがアトリウムをきれいに飾り、雰囲気を大いに盛り上げて頂きました。本当に有難うございました。

12月末日で営業を終えるウエルネスセンターを惜しむ声が多い中、オープンハウス終了後関係者で感謝会をもちました。町会のみなさん、そして今後お世話になるゴールドジムの方にも参加いただき、今までの労をねぎらうと同時に来年からの新しい形でのオープンハウスに思いを同じにして会を閉じました。



### ▼東雲地域でクリスマス会

12月10日、会員部のミッション委員会が主催し、教会のない東雲地域の家族にもキリスト教のクリスマスを知ってほしいとの願いから、「しののめYMCAクリスマス」をはじめて開催しました。当日は15家族、会員や職員を合わせて約50名が集い、町田洋子氏（日本基督教団早稲田教会）の奨励による礼拝の他、紙芝居、ゲーム、歌などを通してクリスマスをお祝いしました。また終了後は地域のクリスマスツリーの点灯式に参加いただくこともでき、新しいエリアでのキリスト教の広がり的一步になればと関係者は願っています。今後も継続してコミュニティーセンターのイベントとして実施できればと思います。

### ▼第12回子育て講演会

1月27日、しののめYMCAこども園を会場に開催されます。今回はリオオリンピック200メートル平泳ぎ金メダリストの金藤理絵氏から、自らが育てられた体験から子育ての話を聞きます。子育て中の保護者を支援することに賛同する企業や団体に協賛をいただき、会員、職員の有志による実行委員会が準備を進めています。是非ご参加ください。

### ★今月の誕生日

奥峪 添子ネット（19日）

山口 紀子ネット（6日）

